

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	行方市立玉造中学校 全学年 310名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教科名（学級活動）</li> <li>② 行事名（講演会）</li> <li>③ その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 イベント名（ ）</li> <li>2 その他（ ）</li> </ul>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会を実施し、オリンピック・パラリンピックやスポーツへの興味・関心を高める。</li> <li>・ブラインドサッカーを体験させることによりパラリンピックへの興味・関心を高めるとともに、障害者への理解を深める。</li> </ul>
5 取組内容	<p>&lt;講演会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競泳二百メートルバタフライでロンドン・リオオリンピック二大会連続銅メダリストの星 奈津美氏の講演会を計画した。</li> <li>・事前に、講師に対する関心をもたせるために、ポスターを作成し、体育館の玄関や昇降口等に掲示した。</li> <li>・オリンピックをより身近に感じさせるため、講演会后、ロンドン・リオオリンピックの銅メダルを生徒が直接触れる場面を設けた。</li> </ul> <p>&lt;関連書籍による啓発&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックに関する書籍を図書室のオリンピック・パラリンピック特別コーナーに置き、オリンピック・パラリンピックに関する啓発を図った。</li> <li>・生徒の馴染みの少ないパラリンピックに関する書籍を充実させた。</li> </ul>



	<p>&lt;ブラインドサッカー体験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピックへの関心を高めるために、1年生の学級活動で、競技用のアイマスク及びブラインドサッカーボールを使用し、ブラインドサッカーを体験させた。</li> </ul>	
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピックを招いた講演を実施したことにより、オリンピックやスポーツへの興味・関心を高めることができた。また、オリンピック・パラリンピックをより身近に感じさせることができた。</li> <li>オリンピック・パラリンピックに関する書籍を図書室のオリンピック・パラリンピック特別コーナーに置き、オリンピック・パラリンピックに関する啓発を図ったところ、これまで生徒に関心の低かったパラリンピックへの関心を高めるとともに理解を深めることができた。</li> <li>ブラインドサッカーを体験させることによりパラリンピックへの興味・関心を高めるとともに、障害者への理解を深めることができた。</li> </ul>	
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック・パラリンピックをより身近に感じさせるためにオリンピックを招いた講演会を実施した。</li> <li>生徒の関心の低かったパラリンピックへの関心を高めるためにパラリンピックに関する書籍の充実を図ったりブラインドサッカーを体験させたりした。</li> </ul>	
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピックの選定やオリンピック関係者との折衝を学校独自で行ったので、業務への負担感があった。市教育委員会との連携を取り、協力を得ながら進める必要性を感じた。</li> <li>オリンピックの講演に向けてポスターを掲示するなどの啓発を行ったが、当日の生徒の反応が考えていたよりも高くなかった。日頃から生徒のスポーツ全般に関する関心を高めることが、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めることにつながるということを痛感した。</li> <li>2020年に向けて本年度だけではなく、継続してオリンピック・パラリンピックに関する啓発活動を行っていくことが重要であると感じた。</li> </ul>	
9 来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラインドサッカーを継続するなどして、今後もオリンピック・パラリンピックに関する啓発活動を実施するとともに、学校教育全体を通してスポーツの振興に努める。</li> </ul>	